

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	緑内障の治療成績に関する多機関共同後ろ向き観察研究
研究責任者	朝岡亮
研究実施体制	尾花明 聖隷浜松病院 眼科 部長 郷渡有子 聖隷浜松病院 眼科 主任医長 石井香利 聖隷浜松病院 眼科 医師 中澤理紗 聖隷浜松病院 眼科 医師 野間沙紀 聖隷浜松病院 眼科 医師 高柳佑二 聖隷浜松病院 眼科 医師 山口雅也 聖隷浜松病院 眼科 医師 守山貴宣 聖隷浜松病院 眼科 視能訓練士 藤野友里 聖隷浜松病院 眼科 視能訓練士 福與ほなみ 聖隷浜松病院 眼科 視能訓練士 谷戸正樹 島根大学医学部付属病院 眼科 教授 木内良明 広島大学医学部付属病院 眼科 教授 三栄会 ツカザキ眼科 部長 中倉俊祐
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ～ 2025年 3月 31日
対象者	緑内障、白内障で当院で加療された方。
研究の意義・目的	緑内障では進行防止のための眼圧下降治療として、点眼薬、レーザー（線維柱帯、虹彩）、外科的手術（超音波水晶体入荷吸引術＋眼内レンズ挿入術、線維柱帯切開術、iStent 挿入術、Ahmed valve 挿入術、線維柱帯切除術、濾過法再建術など）が行われています。本研究の目的はこれらの治療法による治療成績を比較検討することです。
研究の方法	緑内障では進行防止のための眼圧下降治療として施行された、点眼薬、レーザー（線維柱帯、虹彩）、外科的手術（超音波水晶体入荷吸引術＋眼内レンズ挿入術、線維柱帯切開術、iStent 挿入術、Ahmed valve 挿入術、線維柱帯切除術、濾過法再建術など）の治療法による治療成績を比較検討することです。比較検討項目は、眼圧（ゴールドマン圧平眼圧、iCare 眼圧計、Ocular Response Analyzer 眼圧計、Corvis iCare 眼圧計、空圧式 iCare 眼圧計など）、Ocular Response Analyzer 眼圧計や Corvis iCare 眼圧計による角膜生体力学特性、視野、視力、屈折、光干渉断層計による網膜層厚、点眼内容などです。比較対象として緑内障を伴わない白内障に対して超音波水晶体乳化吸引術＋眼内レンズ挿入術を行った症例についても同様のデータを解析し、比較検討します。同様のデータは島根大学医学部付属病院、広島大学医学部付属病院、三栄会ツカザキ病院眼科でも収集され、対応のある匿名化を施行ののち聖隷浜松病院眼科に送付され、統合解析され

	ます。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 眼科 (氏名) 朝岡亮 TEL:053-474-2222(代表) 眼科外来 9:00~17:00 平日